第二週 召会生活——キリストの中でかしらにつり上げられる生活

2017 TGC 2c 默想のまとめ

亚玛拿

鳥瞰の範例

認識

* 神の定められた御旨はかしらにつり上げることです

Ⅰ 神の定められた御旨は、すべてのものをキリストの中でかしらにつり上げることです

- 神の永遠の定められた御旨は、時代の満了時のエコノミーにおいて、彼がすべてのものを新天新地で、キリストの中でかしらにつり上げることです
  エペソ1:10時代の満了時のエコノミー[経綸]へ至るためです. すなわち、キリストの中で、天にあるもの地にあるもの、すべてのものを、彼の中でかしらにつり上げようとされたのです

*サタンの目標は破壊することです

Ⅱ サタンは神の創造を腐敗させ、混乱を引き起こしました

- サタンが自分自身を人の中へと注入しました:罪は死をもたらし,死は暗やみをもたらし,暗やみは全宇宙に崩壊と混乱をもたらします
  ローマ8:20-21なぜなら、被造物が虚無に服従させられたのは、自分の意志からではなく、それを服従させた方によるのであって,
  …朽ち果てる奴隷状態から自由にされて、神の子供たちの栄光の自由に入る望みがあるからです

* 私達は救い出される必要があります

Ⅲ 私達はみな崩壊の堆積から救い出され、キリストの中でかしらにつり上げられる必要があります

- 宇宙の崩壊は、神に絶好の機会を与えて、彼の知恵を現させ、私達を崩壊の堆積から救い、かしらであるキリストにつり上げさせます
  コロ1:12-13…御父に、感謝をささげるように。御父は私達を暗やみの権威から救い出して、彼の愛する御子の王国に移してくださいました

経験

* 私達はかしらにつり上げられることで率先する必要があります(題名の負担)

Ⅳ 正常な召会生活の中で、私達はかしらにつり上げられることで率先しています

- 召会生活の中で、私達は命において成長し、キリストを命またパースンとして受け入れ、すべての事でかしらであるキリストの中へと成長し込む必要があります
  エペソ4:15むしろ、愛の中で真実を固く保って、私達はすべての事で、彼すなわちかしらであるキリストの中へと成長し込むのです
- 神は召会がかしらにつり上げられることで率先させます。そうすれば、神は道を得て他のすべてのものをかしらにつり上げます。
  最終的に、からだはかしらとしてのキリストと共に、万物に対する宇宙的なかしらとなります
  エペソ1:22-23また神は、万物をキリストの足の下に服従させ、そして彼を万物の上にかしらとして召会に与えられました;
  この召会は、キリストのからだであり、すべての中ですべてを満たしている方の豊満です

* 神はどのようにして召会をつり上げられるのでしょうか(実行の道)

Ⅴ 神は神聖なエコノミーにおける神聖な分与を通して、私達をかしらにつり上げられつつあります

- キリストは神聖なエコノミーとして、私達の中へと入って来るのは、行政、案配、計画としてであり、あらゆるものを秩序正しくします
  1テモ1:4作り話や果てしのない系図に、心をとめたりすることがないように…;そのようなものは、信仰の中にある神のエコノミー[経綸]ではなく、むしろ論議を引き起こすだけです
- 神は行政、案配を通して、ご自身を彼の選ばれた人たちの中へと造り込みつつあります
  エペソ3:16-17どうか御父が、彼の栄光の豊富にしたがい、力をもって、彼の霊を通して、あなたがたを内なる人の中へと増強してくださいますように,
  またキリストが、信仰を通してあなたがたの心の中に、ご自身のホームを造ることができますように…

Ⅵ 分与によってもたらされた命と光を経験し,私達はかしらにつり上げられつつあります

- 神が回復する道は、キリストとサタンが相対すること、命と死が相対すること、光と暗やみが相対すること、秩序と混乱が相対することです
- 死、暗やみ、混乱に打ち勝つのは、命の分与によります
- 私達は命において成長すればするほど、命の光が私達の内側で輝き,暗やみを一掃し、私達は混乱から救い出され、かしらにつり上げられつつあります
  ヨハネ1:4彼の中に命があった. この命は人の光であった;ヨハネ8:12…わたしに従う者は、決して暗やみの中を歩くことがなく、命の光を持つ
  エパソ3:10-11今、天上にある支配たちや権威たちに、神の多種多様な知恵を、召会を通して知らせるためであり、
  神が私達の主キリスト・イエスの中で立てられた、永遠の定められた御旨にしたがっているものです

キリスト→命→ 光 →かしらにつり上げられる
サタン→死→暗やみ→混乱